



探究パターン・カード
Ver. 1.0 2019年12月発行

●探究パターン・カードセットに含まれるもの

- ・表紙/パターンリスト 1枚
- ・パターン・カード 36枚
- ・実践レベルカード 3枚
- ・取り入れたいカード 1枚
- ・取り扱い説明書(本紙)

●探究パターン・カードとは

・本作は、質の良い探究活動を行うための支援ツール「創造的な探究のためのパターン・ランゲージ」のカードとして、株式会社クリエイティブシフトと株式会社ベネッセコーポレーションにより、共同開発されました。

・ベネッセコーポレーションからは、『探究ナビ』教材のなかで「探究PLカード」(2019年2月発行)として提供されていますが、内容は同じものです。

探究パターン・カードとは

探究パターン・カードは、より良い探究をしていくための考え方(ヒント)が書かれたカードです。これを参考にして自分で考えたり、みんなで話し合ったりすることで、探究する力を高めることができるように作られています。

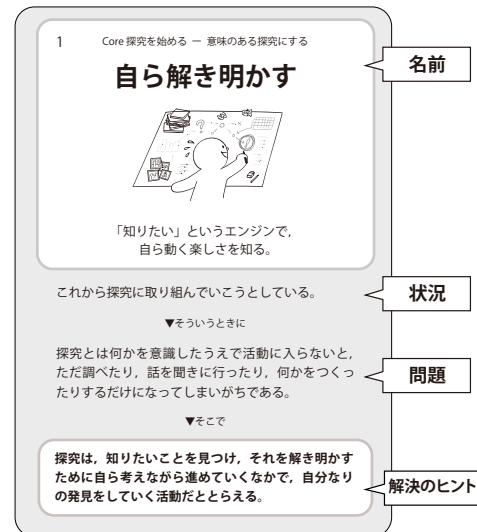
探究のヒントは全部で36個あり、1枚のカードごとに1つのヒントが書かれています。それぞれのヒントは、「こういうときには・こういう問題が起こりやすいけれど・こうすると良い探究ができます」という3つの要素で示されています。カードを読むと、活動前や途中ならば、「こうするとうまくできるんだ」と進め方を工夫することができますし、活動が終わった後なら、「どうすればよかったか」「今回、自分はこれができるようになったのだな」などと、探究に重要なポイントを踏まえながら、振り返ることができるようになります。

ヒントは少し抽象的に示されていて、具体的な行動を指示するものではありません。それは、様々な状況・人に共通すること、つまり本質だけを取り出しているためです。書いてあることを読み、「自分の今の状況なら、どうしたらいいだろうか」とヒントと今の状況を結びつけながら具体的な行動を考え、実際にやってみてください。同じヒントからであっても、多種多様な行動を生み出すことができます。逆に言うと、唯一の正解というものはありませんので、自分が思いついたことをどんどん試してみると良いでしょう。

そうやって掴んだ《自ら解き明かす》力は、決まった正解のない中で、未知を切り開くため、将来に渡って自分を支える力になります。ぜひこのカードを活用し、皆さんの探究力を高めていってください。

カードの見方

本カードの名前にある「パターン・ランゲージ」は、良い実践のコツを共有するため、“上手な人”から抽出した工夫や経験則を、「言葉」として示す方法です。カードの上部に書いてある「名前」(コツの名前)を新しいボキャブラリーとして覚え、使ってみてください。言葉は、思考の道具ですから、探究について考えたり、会話したりする際にこれらの言葉を使うことで、次第にコツを習得していくことができます。



パターン・ランゲージでは、ひとつのコツ(1枚のカード)は「パターン」と呼びます。良い実践・実例の中に繰り返し出てくる現象を、成功の「型(パターン)」にとらえるためです。パターンは、それぞれ上記の例のように、ある「状況」において起こりやすい「問題」と、それを乗り越えるための「解決のヒント」という3つのパーツ、そして、その考え方を示す「名前」の4つで、一つのヒントを紹介します。「解決のヒント」を参考にしながら、自分に合った具体的な実践方法を見つけてみてください。

探究PLのパターン(ヒント) 一覧

Core 探究を始める

- 1 自ら解き明かす
- 2 一段上のチャレンジ
- 3 自分にとっての意義

A 課題の設定

- 4 興味があること
- 5 心の動き
- 6 片隅に置いて過ごす
- 7 切り口の探索
- 8 自分なりのおもしろポイント
- 9 ナゾの発見
- 10 未知かどうか
- 11 無理がないか
- 12 何の役に立つか

B 情報の収集

- 13 まずは動く
- 14 仮説探偵
- 15 リアルに触れる
- 16 でどころチェック
- 17 周辺サーチ
- 18 オリジナルの情報

C 整理・分析

- 19 とにかく書き出す
- 20 方法の道具箱
- 21 ほかの人の目
- 22 仮説に対する分析
- 23 想定外の発見
- 24 次のサイクル

D まとめ・発表

- 25 自分を入れる
- 26 改善ダイアローグ
- 27 徹底的な仕上げ
- 28 発見の共有
- 29 相手に届く伝え方
- 30 惹き込む魅力

E 振り返り

- 31 成長の振り返り
- 32 振り返りテーブルトーク
- 33 未来へのことば

Team チームで取り組む

- 34 お互いの活躍ポイント
- 35 納得のステップ
- 36 多様な参加

カードの使い方(例)

●自分の探究の仕方を把握し、よりよくするための次の一歩を選びましょう。

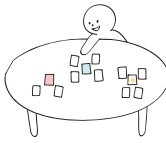
- ① パターン・カード36枚と、3色(緑・水色・ピンク)の実践レベルカードを用意します。



- ② 3色の実践レベルカードを、少し離してテーブルに置きます。パターン・カードを1枚ずつ読みながら、内容を実践しているかを考え、該当する実践レベルのカードのまわりに置いていきます。



- ③ 黄色の「取り入れたい」カードをテーブル上に置きます。「少し実践している」「実践していない」に分類したカードのなかから、試してみたいものを「取り入れたい」カードに近づけます。



- ④ 「取り入れたい」と思ったもののなかから、特にチャレンジしたいものを選び出し、次の目標にしましょう。

※今回の、または今までの活動の中で実践するとしたら、どんなふうにできたかを一度振り返っておくと、次に取り入れやすくなります。
※自分の実践状況や、取り入れたいものについて、何人かで話し、質問があったり、案を出し合ったりするとより理解を深めることができます。



カードの使い方(例2)

●自分の探究の傾向を捉え、その理由を考えたり、変化を確認したり、今後伸ばしたい方向性を見つけたりしましょう。

- ① No1～33のカードを読んで、実践しているものは、「実践チェック」欄に○をつけます。

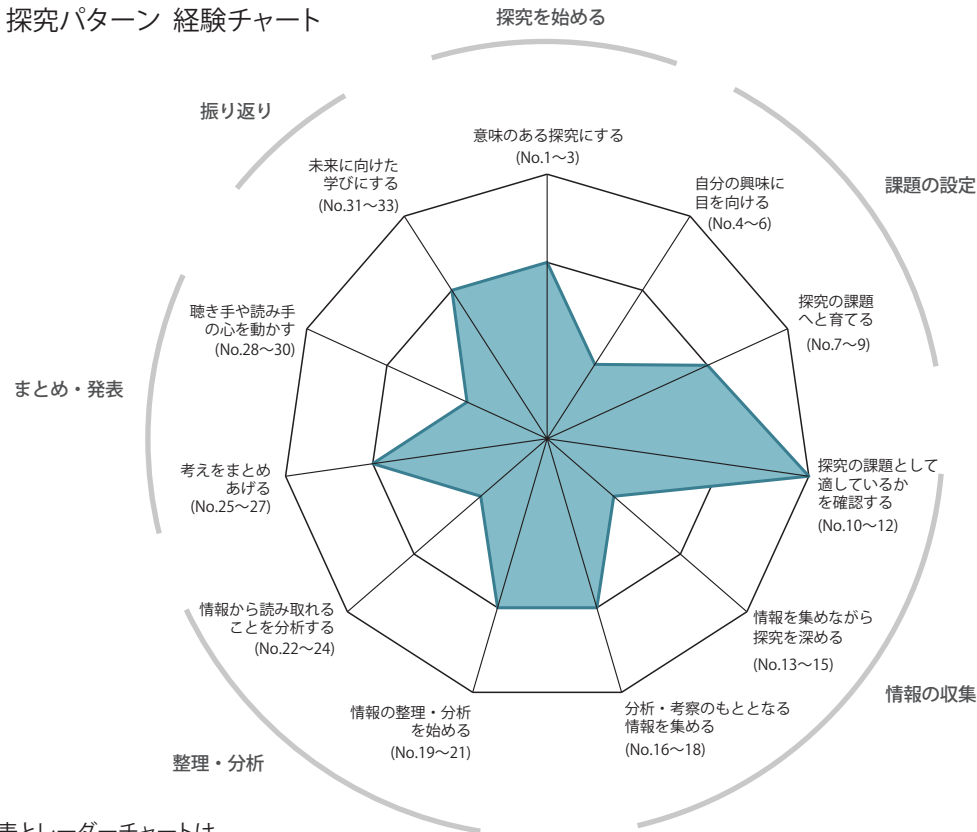
- ② グループごとに○の数を足して、「グループスコア」欄に数字を書きます。

- ③ グループごとの点数を元に、左下のレーダーチャートを作成し、傾向を読み解きます。

※過去の傾向と比較して成長を確認したり、次にチャレンジすべき項目の参考にすることができます。

※No34～36は、チームで取り組むときのものなので、除いた方が自分自身の経験/バランスを見やすくなります。チームで取り組む力も一緒に把握したい場合は、表およびチャートに入れてください。

探究パターン 経験チャート



表とレーダーチャートは <http://creativeshift.co.jp/download/tankyu-list> にて、ダウンロードしてください。

カテゴリー	グループ	探究のヒント名 (探究のことば)	実践 チェック ○	グループ スコア 0~3
探究を始める	意味のある探究にする	1. 自ら解き明かす		
		2. 一段上のチャレンジ		
		3. 自分にとっての意義		
課題の設定	自分の興味に目を向ける	4. 興味があること		
		5. 心の動き		
		6. 片隅に置いて過ごす		
	興味を探究の課題へと育てる	7. 切り口の探索		
		8. 自分なりのおもしろいポイント		
		9. ナゾの発見		
	探究の課題として適しているかを確認する	10. 未知かどうか		
		11. 無理がないか		
		12. 何の役に立つか		
情報の収集	情報を集めながら、探究を深める	13. まずは動く		
		14. 仮説探偵		
		15. リアルに触れる		
	分析・考察のもととなる情報を集める	16. どころチェック		
		17. 周辺サーチ		
		18. オリジナルの情報		
整理・分析	情報の整理・分析を始める	19. とにかく書き出す		
		20. 方法の道具箱		
		21. ほかの人の目		
	情報から読み取れることを分析する	22. 仮説に対する分析		
		23. 想定外の発見		
		24. 次のサイクル		
まとめ・発表	考えをまとめあげる	25. 自分を入れる		
		26. 改善ダイアログ		
		27. 徹底的な仕上げ		
	聴き手や読み手の心を動かす	28. 発見の共有		
		29. 相手に届く伝え方		
		30. 惹き込む魅力		
振り返り	未来に向けた学びにする	31. 成長の振り返り		
		32. 振り返りテーブルトーク		
		33. 未来へのことば		